

大磯のよかまアソビ

大磯町災害救援ボランティアの会

賀正

新年のご挨拶 ————— 大磯町災害救援ボランティアの会 会長 伊藤勇

新年明けましておめでとうございます。

当会としましては近々予想されている大災害に備えて、会員の防災力の強化を図っていきたいと思います。地域への理解を深め、また、各種外部講演・見学・研修会にも参加して、そこから得た防災知識を皆さんと共有したいと考えています。今年もよろしくお祈りします。

「大磯町災害救援ボランティアの会」は、平素より知識や技術の習得をし、災害時には自分自身及び家族の安全を確認したうえで自分ができる奉仕活動をするることにより、町や地域の再建へ寄与して災害に強い大磯町にするのを目的として活動しています。ご賛同頂ける皆様のご入会を心からお待ちしております。



大磯町チャレンジフェスタの「防災フェア」に参加して

チャレンジフェスタの防災コーナーには、自衛隊・消防署・NIT等多数の団体のブースや耐震車が並びました。

当会では、災害時のペット避難に必要な物品の展示・アンケート(災害時のペットの対応について)及び説明・相談、災害時の100円ショップで揃う防災用品の展示、子供たちを対象とした防災クイズを実施し、全体で100名以上の参加がありました。

子供防災クイズの目的は、「子供から防災の家族会議」をおこなってもらう事でした。合計6回のクイズに子供達は真剣に向き合っていて、防災意識が高かったように感じられました。クイズ参加者が全員大人になった時は、家具の転倒防止・避難方法・家族の

連絡方法などの大人向けの説明をおこない、防災に関心を持っていただけました。今後も幅広く防災の意味目的を広めて行きたいと思えます。ご参加いただいた皆様ありがとうございます。(伊藤)



防災リ・子エツク〈第16回〉

防災啓発中央研修会

2023年12月1日の「防災啓発中央研修会」のZoom会議は大変ためになりました。

その中でも「市町村の災害対応力の強化」と「南海トラフ地震、首都直下型地震など大規模

巨大地震災害に備える」は大変参考になりました。皆さんも是非、PCやスマホからインターネットで「土砂キキクル」「洪水キキクル」「浸水キキクル」の3つを検索して見てください。

(テツ&ゴン)

大磯の地形を歩く

箱根町立箱根ジオミュージアム
笠間友博



⑰ 橋の風景 1 下吉沢架道橋から見る地形



写真1 下吉沢架道橋 2023年12月7日撮影



写真2 厚木方面を見る 2023年12月7日撮影



写真3 小田原方面を見る 2023年12月7日撮影

ますが、詳細は不明です。長さが短すぎるので地震の震源とは考えにくい断層群です。伊勢原断層(長さ約21km)などの動きで副次的に動くのかもしれませんが。

小田原厚木道路にかかる農道の橋で、大磯町と平塚市の境界にあります(写真1)。農道には農業車専用である旨の寺坂自治会の立て看板がありますが、橋自体は名称から平塚市側ようです。この橋で面白いのは、厚木方面(写真2)と小田原方面(写真3)で風景が全く異なる事です。厚木側は日向岡の住宅街、小田原側は鷹取山へ続く山林です。この背景には地形の違いがあり、その地形の違いには断層が関わっています。図1を見てください。下吉沢架道橋の周辺には3つの断層があり、地形を形作っています。鷹取山と日向岡の間には生沢断層、日向岡とその東の低地の間には根坂間断層があります。これらの断層によって、地形は東側から西側に向かって段階的に高くなっています。一方、日向岡の南には小向断層があり、この断層を境に南側は地形が高くなり、高麗山となっています。これらの断層は活断層とされる事もあります。



図1 周辺の地形 国土地理院 HP「自分で作る色別標高図」を利用(断層線の通過位置は正確には分かっています)

その時を助け合い 乗切るために ⑮ ペットと一緒に

昨年は、飼い主の方にペット防災アンケートの実施、同行避難及び係留訓練、町内各イベントでもペット防災アンケートの実施・ペット防災展示コーナーによる啓発活動を行いました。直接、飼い主の方とお話が出来たことで、企画は途切れることなく前に進めることが出来ました。皆さん不安はあるものの、災害時どう助け合うのか、という所で立ち止まっていたのではないでしょうか。ペット防災というと、ちょっと構えてしまうところがありますが、日頃の困りごとを「お互い様」で考えてみると、どうでしょ

う。実は、そこで気づいたアイデアを、一例ではありますが試験的に実施中です。内容は別の機会に紹介出来ればと思っています。

ペットを通じて人が繋がるのが、【共助】の1歩だと改めて実感したことで、今年は「飼い主同士、何が出来るか」皆さんと一緒に考えて行きたいと思います。家族であるペットを守る！それには、人が助からなければなりません。被災された方や、被災された方の体験談を聞いた方、是非お話を聞かせてください。多くの教訓を活かして、日頃からの共助を見つけていきましょう！(池田)

大磯町災害救援ボランティアの会は、地域の安全・安心を第一優先として災害時への備えを考えている団体です。一緒に活動していただける会員を募集しています。また、防災に関する情報や質問などがありましたらぜひお知らせください。(伊藤)

✉ itou1321@forest.ocn.ne.jp
☎ 090-3403-6443



『大磯のなかまたちへ』第26号

編集・発行 大磯町災害救援ボランティアの会
255-0003 大磯町大磯 1352-1
大磯町災害救援ボランティアの会事務局
大磯町社会福祉協議会
後援 大磯町社会福祉協議会
発行日 2024年1月1日
発行部数 2,000部

